

令和元年度

事業活動報告

社会福祉法人 すこやか福祉会

障害者支援施設
かたくりの里

〒953-0103

新潟県新潟市西蒲区橋本88番地1

TEL 0256-82-1811

FAX 0256-82-1815

社会福祉法人すこやか福祉会 障害者支援施設 かたくりの里は、全国身体障害者施設協議会に加盟する施設として、『障害者の権利に関する条約』の理念を遵守し、「最も援助を必要とする最後の一人の尊重」「可能性の限りない追及」「共に生きる社会づくり」という全身協の基本理念を実現するため、ここに倫理綱領として定めます。

全国身体障害者施設協議会 倫理綱領

社会福祉法人 全国社会福祉協議会
全国身体障害者施設協議会

1. 私たちは、基本的人権を尊重し、利用者一人ひとりのその人らしい生活を支援します。
2. 私たちは、日々の実践を検証し、利用者に安全、安心、快適なサービスを提供します。
3. 私たちは、自己研鑽に努め、専門的な知識と技術と価値観をもって、良質なサービスを提供します。
4. 私たちは、利用者に必要な情報をわかりやすい方法で提供し、要望にはすみやかに対応します。
5. 私たちは、広く重度の障害のある方々のためのサービスを開発し、提供します。
6. 私たちは、重度の障害のある方々をとりまく環境の改善と福祉文化の醸成に努めます。
7. 私たちは、関連機関・団体、地域住民等とともに、事業を展開します。
8. 私たちは、透明性を堅持し、健全かつ活力ある経営にあたります。

社会福祉法人 すこやか福祉会
職員行動規範
～ 利用者の感動と楽しい職場のために ～

前文

私たち社会福祉法人すこやか福祉会職員は、自らの行動に責任と自覚を持ち、地域社会の一員として行動するための基本的な指針として「社会福祉法人すこやか福祉会 職員行動規範」を定め、これを職員相互で常に確認し合い遵守します。

1 社会的ルールへの遵守・コンプライアンスの徹底

私たちは、強い意志の下、関係法令、法人の定めた諸規程はもとより、法人の理念や社会的ルールの遵守を徹底します。

2 個人の尊厳

私たちは自らの先入観や偏見を廃し、利用者の個性や気持ちを真摯に受け止め、誠実な態度で、利用者一人ひとりに接します。

3 人権の尊重

- (1) 私たちは、利用者の人権と人格を最大限に尊重し、個性や感性の違いを認め、全ての人が平等であるという考えの下に行動します。
- (2) 私たちは、体罰、暴言、威圧的・強制的対応、無視、差別的対応、嫌がらせ(ハラスメント)、身体拘束、プライバシーの侵害など、人権侵害行為は決して行いません。
- (3) 私たちは、人権侵害行為や虐待を発見した場合は、直ちに上司に報告し、「虐待防止委員会」を速やかに開催し適切に対応します。

4 安心して安全な暮らしの保障

- (1) 私たちは、リスク管理に万全を期し、事故防止および安全の確保に努めます。
- (2) 業務上知り得た個人情報決して外部に漏らしません。退職後も同様とします。

5 自己選択・自己決定権の保障

私たちは、利用者の特性に応じた働きかけや説明を行い、可能な限り自己選択・自己決定ができるように支援します。

6 満足度の高いサービスの提供

私たちは、利用者の意思やニーズを十分に把握し、「やすらぎ」と「生きがい」のある生活を送れるようにサービスを提供します。

7 社会参加の促進

私たちは、社会資源の活用や情報提供を積極的に行い、利用者の社会参加の促進に努めます。

8 専門性の向上

- (1) 私たちは、利用者支援の専門性を高めるため、常に努力と自己研鑽に努めます。
- (2) 私たちは、各種資格の取得に努め、専門性の向上を図ります

令和元年度かたくりの里 事業報告

<目 次>

	ページ
1 理念・基本方針	1
2 令和元年度事業方針	1
3 障害福祉サービス事業	3
施設入所支援	3
生活介護	3
短期入所	4
指定特定相談支援事業	5
4 職員体制	6
5 生活支援課業務報告	7
入所支援係	7
地域支援係	7
療護係	9
総務係	14
業務委員会	15
権利擁護	16
安 全	16
生活向上	21
防 災	23
研 修	23
日中活動	27
情報管理	32
業務検討会	33
6 外部行事参加状況	35
7 補助金・助成金事業報告	35

1 理念・基本方針

○施設の目的

障害者支援施設 かたくりの里は、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、入浴、排せつ及び食事の介護、創作的活動又は生産活動の機会の提供その他必要な施設障害福祉サービスを適切かつ効果的に行うことにより、障害者の福祉の増進を図ることを目的とする。

○施設の方針

障害者が日常生活または社会生活を営むための支援は、障害の有無にかかわらず等しく基本的人権を享有するかけがえない個人として尊重されるものであるとの理念に乗っ取り、すべて障害者は、個人の尊厳が重んじられ、その尊厳にふさわしい支援を保障される権利を有するものとする。すべて障害者は、社会を構成する一員として社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加する機会を与えられるものとする。利用者の尊厳、人権とプライバシーを重視した対応に心掛け、充実した人生を安全で快適な生活環境のもとで過ごせるように配慮する。また、高齢化等による2次的な障害の防止に努めると共に、地域社会との幅広い交流を通して健全な生活が営まれる開かれた施設の運営を行う。

施設の中だけで生活が完結することではなく、社会の構成員として社会参加し、障害者問題に対する地域住民からの理解と認識を深めるための啓発活動も必要である。利用者の社会生活を促進し、地域生活・在宅生活へ移行するために必要な援助や地域等との連絡調整を積極的に行う。

○利用者個人の尊厳を尊重し、適性、障害の特性その他の事情を踏まえて個別支援計画を作成します。これに基づき利用者主体のサービスを提供するとともに、その効果について継続的な評価を実施し、利用者に対して適切かつ効果的なサービスを提供します。

○生活の場としての施設支援サービスの提供とともに、地域生活への移行を意識した社会生活力向上プログラムや積極的な社会参加を促進していくプログラム、日中活動を提供します。

○開かれた施設を目指し、地域交流スペースの活用と地域との連携を図ります。

2 令和元年度事業方針

- (1) 「やすらぎと生きがい」を合い言葉に、明るく楽しい生活空間を創造する。
- (2) 利用者のニーズを把握し、個別支援計画を策定し実施する。
- (3) 利用者が積極的に社会参加できるよう社会生活力向上プログラムを計画し実施する。
- (4) 利用者が主体的に活動できるよう自治組織と協力する。
- (5) 計画相談支援の事業を行うことにより、障害福祉サービス利用者の利便性を向上させる。
- (6) 利用者の苦情等に対しては、真摯に受け止め解決を図るよう努める

令和元年度 中期方針の振り返り

○福祉サービス第三者評価受審への取り組み

入所支援係が中心となり、令和3年度の第三者評価受審に向けて、全職員で自己評価を実施した。自己評価結果を分析後、各係で課題を抽出、PDCA サイクルで検討を開始し、業務検討会にて報告を行った。

○職員のキャリアアップ、研修制度の確立

- ・かたくりの里における職員のキャリアパスを作成した。来年度に向け職員自らのキャリアアップの道筋を描くことができるように周知していく。
- ・新人職員研修マニュアルの見直しを行い、職員1名に対し研修を実施した。
- ・スーパービジョン研修に職員2名派遣した。
- ・福祉職員のキャリアパス対応生涯研修にチームリーダーコース2名、中堅コース1名、初心者コース1名を派遣した。

○防犯・防災体制の確立

- ・停電時の対応についてマニュアルを作成した。
- ・新潟市西蒲警察署、日本防災通信協会の協力のもと、防犯訓練を実施した。
- ・年2回の火災想定避難訓練に加え、参加職員以外にも避難区画等について確認してもらうため、各委員会で机上訓練を実施し、全職員に対して理解を深めることができた。

○地域共生社会の実現

- ・9月に岩室地区で行われた、あなぐま芸術祭では職員が実行委員として企画段階から関わり、様々な活動が行われた。芸術祭には利用者が作品を出展し、作品鑑賞に多くの利用者が参加した。また、第19回全国障害者芸術・文化祭にいがた大会「まちなかアートプロジェクト0光年芸術祭 西蒲座」においてかたくりの里も全国から集められた障害者アート作品を展示する会場となった。
- ・かたくりの里にて、障害者スポーツ（ボッチャ、カーリンコン）の体験会を開催した他、かたくり祭でファッションショーを開催し、多くの地域住民の方々と交流を深めることができた。

○障害者差別解消法の理解

新潟市の「ともにプロジェクト」について、あなぐま芸術祭等の地域交流活動を通じ、その取り組みに沿った活動を行うことができた。

○医療的ケアを必要とする人たちへの支援

喀痰吸引等研修に1名受講した。令和2年度は喀痰吸引等実地研修を充実させることで、体制整備を進めていきたい。

3 障害福祉サービス事業

■施設入所支援（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

定員50名（ALS 居室利用者は定員内数で利用する）
 障害支援区分4（50歳以上は区分3）以上が該当する。

入退所動向

退所 平成31年4月男性
 令和元年 6月女性 10月男性 12月男性 12月女性 合計 5名

入所 令和元年 5月男性 6月女性 8月男性 11月男性 12月男性
 令和2年 2月男性 合計 6名

令和2年3月31日現在

		障害支援区分				年 齢		
性別	利用者数	3	4	5	6	最小年齢	最高年齢	平均年齢
男性	32	2	2	10	18	31歳0ヶ月	83歳0ヶ月	62歳3ヶ月
女性	19	0	1	5	13	28歳6ヶ月	77歳4ヶ月	60歳6ヶ月
	51	1	3	15	31	男女平均年齢 61歳11ヶ月		

令和元年度 施設入所支援 利用状況・稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月末登録者数	50	50	51	51	51	51	50	51	50	50	51	51
延べ人数	1473	1506	1433	1521	1520	1487	1521	1474	1555	1412	1353	1507
入院・外泊	24	44	66	29	61	43	53	35	12	107	124	74
稼働率(%)	98.1	97.0	95.4	98.1	98.0	99.1	98.0	98.2	100.3	96.2	93.3	97.2

3月末時点で、定員50名に対して利用者51名となっている。

令和元年度の年間稼働率は97%

令和2年3月末待機者 男性 6名 女性 3名 計 9名

■生活介護（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

定員 58名

施設入所は区分4（50歳以上は区分3）以上
 地域生活（通所等）区分3（50歳以上は区分2）以上が該当する。
 支給量は施設入所、地域ともに月数－8日
 営業時間は8：30～17：00。土日と年末年始の送迎サービスは実施しない。

令和2年3月31日現在

令和元年度 通所 登録利用者 34名

(地 域)		障害程度区分					年 齢		
性別	利用者数	2	3	4	5	6	最小年齢	最高年齢	平均年齢
男性	20	0	4	6	5	5	21歳2ヶ月	69歳0ヶ月	47歳10ヶ月
女性	14	2	0	3	3	6	21歳0ヶ月	62歳11ヶ月	42歳11ヶ月
	34	2	4	9	8	11	男女平均年齢 44歳5ヶ月		

令和元年度 生活介護 利用状況・稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
施設利用者	1080	1114	1065	1133	1147	1107	1141	1091	1159	1094	989	1150
通所利用者	250	225	204	241	253	253	277	257	237	233	230	71
延べ人数	1330	1339	1269	1374	1400	1360	1418	1348	1396	1327	1219	1220
稼働率(%)	76.7	75.0	75.0	76.4	77.5	77.5	78.8	76.8	77.8	74.0	72.5	66.6

令和元年度年間稼働率 75%

■短期入所 (平成31年4月1日～令和2年3月31日)

令和元年度利用登録者数 28名 男性 18名 女性 10名

地区	男性	女性	短期利用の理由 (人)	特記事項
西蒲区	8	3	介護者の負担軽減(8) 本人希望(2) 虐待(1)	生活介護併用 (9)
西区	1	1	介護者の負担軽減(2)	生活介護併用 (1)
中央区	2	0	介護者の負担軽減(2)	
燕市	5	5	介護者の負担軽減(8) 本人希望(2)	生活介護併用 (7)
加茂市	2	0	介護者の負担軽減(2)	
三条市	2	1	介護者の負担軽減(3)	

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者数	20	20	17	18	19	21	19	21	17	15	16	1
利用日数	146	123	104	126	133	140	137	143	114	104	109	31

定員 5名 併設福祉型短期入所サービスを提供した。

令和元年度年間稼働率 77%

半数の利用者が生活介護を併用し、短期入所と日中活動を併用する短期入所(Ⅱ)を算定。宿泊をともなうサービス提供なので、施設入所支援係との連携が不可欠であり、入退所に伴う事務処理、荷物のチェック等、利用者に迷惑がかからないように職員間での連絡・報告を確実にする必要がある。

□国土交通省短期入所協力事業

自動車事故が原因で、重度の後遺症を持つため、日常生活動作について常時又は随時介護が必要な状態の方を受け入れる施設として、平成27年10月に指定を受けた。

指定特定相談支事業

地域連携相談室 すこやか 令和元年度事業活動報告

(1) 相談支援事業の概要

「地域連携相談室 すこやか」の指定計画相談支援の事業を行うことにより、障害福祉サービス利用者の利便性を向上させる。」

- 指定計画相談支援
- サービス利用支援
- サービス等利用計画案及びサービス等利用計画の作成
- 継続サービス利用支援
- サービス等利用計画の見直し

<実施状況>

月	計画作成数	モニタリング数
4	3 (0)	8 (3)
5	2 (0)	8 (3)
6	8 (0)	5 (3)
7	5 (0)	4 (2)
8	8 (1)	4 (2)
9	1 (0)	9 (6)
10	5 (0)	7 (2)
11	6 (0)	11 (8)
12	2 (1)	14 (4)
1	0	12 (6)
2	0	16 (7)
3	3 (1)	7 (5)
合計	43 (3)	105 (51)

() は、かたくりの里入所者数

【令和元年度かたくりの里入所者】 計画作成件数 3件 モニタリング件数 51件

(2) 事業の内容

【人員配置】 管理者 1名
相談支援専門員 2名 (常勤専従1) (常勤兼務1)
相談員 1名 (常勤兼務)

【主たる対象とする障害】 特定しない

【営業日時】 月～金 8:30～17:15 但し、祝日、12月29日～1月3日を除く

【通常の事業実施範囲】 新潟市西蒲区 燕市 弥彦村

【他機関との連携体制】

- ・障害者支援施設かたくりの里 入所支援係、地域支援係と連携した。
- ・西蒲区自立支援協議会への参加と共に、西蒲区障がい福祉係、新潟市障がい福祉課と連携をはかった。
- ・新潟市西蒲区の相談支援事業所と連携した。

- ・新潟市障がい者基幹相談支援センター、市内相談支援事業所、新潟市地域包括支援センターと連携した。

【活動内容】

- ・サービス等利用計画案及びサービス等利用計画の作成
- ・継続サービス利用支援の作成
- ・サービス利用調整
- ・医療機関や居宅介護事業所・福祉施設等との連携、サービス担当者会議の開催
- ・西蒲区自立支援協議会、西蒲区ケース検討会への参加
- ・西蒲区健康福祉課障がい福祉係、新潟市障がい福祉課と連携
- ・相談支援専門員初任者研修参加 1名

【感想・課題】

- ・特定の利用者への対応時間が長くなってしまい、他の方のモニタリングが遅れてしまう事があった。
- ・計画を作成する上で、障がい特性に関する知識の必要性を感じた。
- ・障がい福祉サービスを含むさまざまな制度に関する知識不足を実感した。
- ・令和元年度からモニタリング実施標準期間が見直され、施設入所の方に関してもモニタリングの期間が半年に1回に変更になった為、モニタリング件数が増えた。

4 職員体制

■人員配置

職種等	人数
施設長	1
医師（嘱託）	1
サービス管理責任者	3
看護	4
作業療法士	1
生活支援員	35
管理栄養士	1
事務職員	2
運転員	1
特定相談支援事業	
管理者（兼務）	1
相談支援専門員	2

※生活支援員は兼務・パートを含む人数

人員配置による報酬算定状況

施設入所支援

- ・夜勤職員配置体制加算
- ・重度障害者支援加算
- ・栄養マネジメント加算

生活介護

- ・人員配置体制加算 (1.7:1以上)
- ・福祉専門職員配置等加算 (専門職員 26名)
- ・常勤看護職員等配置加算
- ・リハビリテーション加算

短期入所

- ・栄養士配置加算

※福祉・介護職員処遇改善加算（Ⅰ）6.9%を算定

■会議

すこやか福祉会定例会議	毎月 1回
運営会議	毎月 第2水曜日 16:30～
業務検討会	毎月 第1火曜日
職員会議	毎月 第3火曜日

5 生活支援課 業務報告

■入所支援係

令和元年度中期方針に基づき、福祉サービス第三者評価受審への取り組みを行った。

【活動内容】

- ・生活支援員が利用者を担当することで役割分担を行い、計画書の作成が円滑に実施できた。
- ・カンファレンスを利用者、及び生活支援員・看護師・作業療法士・管理栄養士・相談員等、各専門職種の参加にて実施したことによって、利用者のニーズに対して多職種で支援内容を検討しケアプランに反映できた。
- ・原則として中間評価を6か月後、終了時評価を12か月後に実施。又、再アセスメントを、前回作成したアセスメントシートを基に実施したことで、利用者の思いや身体状況等の変化を情報収集しやすくなった。
- ・利用者の急な状態変化、ニーズの変化には、随時カンファレンスを開催してケアプランの再検討を行うことにより円滑に支援を実施できた。
- ・意思疎通が困難な方への同意については、家族面会時の説明や家族宛に郵送で対応した。
- ・完成したケアプラン一式は、支援計画作成会議録と共に回覧した。
- ・利用者がより良い生活を送れるよう、業務検討会、生活向上委員会にて決定した改善案を実施した。
- ・入院時の病院、家族との連絡調整、利用者に必要な支援を行った。
- ・入退所時の必要な支援、調整を行った。
- ・成年後見制度利用の為の支援を行った。
- ・入所支援係が中心となり、令和3年度の第三者評価受審に向けて、全職員で自己評価を実施した。自己評価結果を分析後、各係で課題を抽出、PDCA サイクルで検討を開始し、業務検討会にて報告を行った。

【感想】

職員が抱えている課題を共有、傾聴し、改善するためのアドバイスや話し合いをしてきたつもりであったが、根本的な解決につながる話し合い、指示やアドバイスができなかった。

課題に対する職員の考え方にずれが生じていた場合、同じ対応をしていても、少しずつ違いが生じ、問題へと発展してしまっただ。利用者の特性を理解することが必須であり、業務の内容と方法の設定理由を周知するだけでなく、理解度まで把握していく必要があると感じた。

【課題】

利用者の特性を理解したうえでの支援方法の決定と周知。周知後の職員個々の理解度の確認。支援員が一丸となって統一された支援を行うことで接遇意識の向上を図る。

■地域支援係

□生活介護（通所）

今年度新規受け入れ者数 3名

今年度終了者数 3名

【活動内容】

- ・相談、利用調整
- ・送迎の実施(実施区域 新潟市西蒲区、燕市、弥彦村)
- ・食事、入浴、排泄等の介護や日常生活上の支援

- ・日中活動の提供
- ・個別支援計画の作成

日 課

- 9：00～ 送迎
- 10：00～ 施設到着・バイタルチェック・お茶
- 10：15～ 入浴・リハビリ
- 12：00～ 昼食・休憩
- 13：00～ 入浴・リハビリ
- 13：45～ 日中活動
- 15：00～ 送迎

□短期入所事業

今年度新規受け入れ者数	3名
今年度終了者数	5名

【活動内容】

- ・相談、利用調整
- ・送迎の実施
- ・入退所時の受け入れ

各種機関との連携

- ・ケース会議への参加
- ・西蒲区障がい者地域自立支援協議会への参加（年4回）
- ・特別支援学校実習生の受け入れ

【感想・課題】

（通所事業）

現在利用されている方の入浴対応、送迎範囲の広さなどが要因となり、新規利用の受け入れが減少している。来年度、介護保険へ移行する利用者が2名いるため、移行までの間に新規利用者を受け入れながら、稼働率の維持につなげていく必要がある。

（短期入所事業）

利用予定を組んでいたが、体調不良等でキャンセルされる利用者が多くみられた。緊急の受け入れにより、長期間の利用をされる方が2名いたことで、稼働率をある程度維持することはできた。

新規の受け入れや、短期入所利用者の支援に対し、地域支援係も朝・夕食の支援をサポートしたが、対応に限界があり、受け入れを縮小せざるを得ないこともあったため、今後も入所支援係との連携・協力が必要である。

□機能訓練

【活動内容】

1. リハビリテーションマネジメントの実施

- ・1日25名程度のリハビリテーション実施計画書に基づいた個別訓練を実施した。
- ・機能訓練室やベッド上での個別リハビリや自主訓練を行い、機能の維持・回復に努めた。
- ・その他、手作業を中心とした作業活動を提供し、作品を仕上げていくことで達成感を得つ

つ楽しく充実した1日になるよう工夫した。

2. 歩行補助具(車椅子や歩行器など)や日常生活用具(ストマなど)の申請・メンテナンス
 - ・各利用者の身体機能に合った車椅子や歩行器を紹介することで、移動を快適に、かつスムーズに行うことが出来るようアプローチした。
 - ・日常生活上で感じる不自由さの相談を受け、適切な福祉用具などの選定にあたった。

【感想・課題】

今年度も事故なく終える事ができたが、生活空間の中で転倒や受傷してしまう利用者がいたので、生活空間での動作確認を支援員と共にを行った。利用者にはアプローチする他に、支援員へのアプローチも重要なので、今後も継続して生活の中でのリハビリや介助方法を伝えていきたい。

作業活動も、個別の能力や希望に合わせ、無理なく活動を行えるように支援した。一方で、活動性の低下が認められる利用者もいるので、支援員と協力し、リハビリにこだわらずに日々の生活の中での機能維持を行っていく必要があるので、来年度の課題としたい。

■療護係

□看護

【活動内容】

1. 利用者の健康管理

- ・朝の申し送りから情報を得て、利用者の体調のチェックを行った。
- ・利用者の体重、体温、血圧測定を月1回行った。
- ・必要に応じて臨時に受診した。

2. 利用者の医療処置

- ・排便チェック表に添って排便状態を把握し、必要に応じて浣腸、坐薬等で排便の介助を行なった。
- ・膀胱洗浄、留置カテーテル交換、褥創処置、軟膏処置、包交、点眼、点耳、点鼻、爪切り、経管栄養滴下、注入、痰吸引等を行った。
- ・使用した医療物品の消毒、高圧滅菌等を行った。
- ・医療廃棄物を管理し、処理の依頼をした。

3. 利用者の通院介助

- ・通院の送迎を支援した。
- ・主治医への状態報告、主治医からの指示を受け次回の予約確認をした。
- ・調剤薬局へ処方箋を送り、薬の受け取りをした。
- ・個人のカルテに受診内容の記録を行い、必要事項はケース記録等でスタッフに伝達した。
- ・医務室の受診予定表に次回の予約を記入した。

4. 利用者の服薬の管理

- ・主治医から処方された薬を医務室で保管した。
- ・内服薬は個人別に投薬車で管理した。
- ・利用者の1日分の内服薬の準備を行なった。朝、昼、夕、眠前それぞれのトレーに薬を用意した。
- ・誤薬を防ぐために、薬を用意した人、看護師リーダー、薬を用意した人でトリプルチェックを行いチェック表にサインをした。

- ・昼の薬は看護師が、朝、夕、眠前の薬は介護職員が責任をもって利用者に投薬した。

5. 嘱託医診療の支援

- ・大西洋司先生に月2回往診時、診察の介助を行なった。
- ・利用者の体調管理に関する相談をし、容体が悪化した場合紹介状をいただき他科受診を行った。
- ・利用者の入退院があったときは報告した。
- ・インフルエンザ予防接種の準備と接種の介助をした。
- ・大西先生が主治医になっている利用者の定期処方毎週1回行なった。
現在処方してもらっている45人の利用者を四つのグループにわけ、毎週月曜日にファックスを送り、翌週の水曜日に薬を受け取りに行った。

6. 安藤医院(泌尿器科)の往診介助

- ・月2回、水曜日の午後往診していただき15人の方の主治医になっていただいた。10人の方のフォーレ交換と15人の方の薬の処方を依頼した。
- ・往診1週間前に個人の定期薬をファックスで依頼した。
- ・フォーレカテーテルの交換、膀胱洗浄の介助を行った。
- ・月始めの診療時に往診費と利用者の請求額を集金し支払いを行なった。

7. 利用者の入退院の準備および介助

- ・看護情報を作成し入院時用意した。
- ・病院に持っていく薬等の準備をし、介護スタッフに衣類等の入院準備を依頼した。
- ・入院中は、支援員とともに病院との連絡を行った。
- ・退院が決まったときは病院の担当看護師より必要な情報を受け取った。

8. 利用者の体重測定、検温、血圧測定を月1回行った。

9. 年間保健衛生計画の実施

- ・インフルエンザ予防接種

施行日：令和元年 11月 接種人数：利用者48名 職員54名

- ・健康診断 年2回

1回目実施日：令和元年8月29日(木) 午後13時30分～16時00分

健診項目：検尿、採血、心電図、血圧測定、診察

参加人数：47名

2回目実施日：令和2年2月27日(木) 午後13時30分～16時00分

健診項目：検尿、採血、心電図、血圧測定、診察

参加人数：47名 胸部レントゲン撮影：18名

10. スタッフ研修の実施

- ・バイタル測定等の説明。
- ・新人職員へのオリエンテーション。
- ・ノロウイルス講習
- ・スキンケア講習
- ・鼻腔口腔吸引、経管栄養の滴下、半固形注入の研修と評価

11. その他

処置に使用する薬剤、医療材料、物品等の購入及び管理。

【感想・課題】

- ・経管栄養を行う利用者が2名になった。
- ・大西先生に利用者の症状によっては他の医療機関への紹介状を書いていただき、スムーズに受診することができた。
- ・今年度インフルエンザにかかった利用者0名、職員1名だった。しかし令和2年1月に風邪症状のある利用者が十数名発生し、1日に4名の受診の時もあり、職員が手分けして対応した。コロナウイルス感染症が流行もあり、対策として解熱するまで居室で過ごしていただいた。
- ・感染性胃腸炎と診断された職員、利用者ともいなかったが感染疑いの職員と利用者いたので対策を講じ蔓延防止に努めた。

入院状況一覧（平成31年4月～令和2年3月）

	入院治療	
	人数	期間（日数）
内科	7	305
神経内科	3	86
小児科	1	26
外科	1	14
皮膚泌尿器	1	14
計	13	445

病院別受診状況（平成31年4月～令和2年3月）

病院名	受診件数
大西医院	240
岩室リハビリ病院	165
ひらさわ歯科	134
安藤医院	72
県立吉田病院	61
渡辺耳鼻科	41
佐潟荘	31
大島病院	13
日本歯科大学	10
後藤内科クリニック	10
西蒲メディカル病院	8
燕労災病院	8
いわぶち整形外科クリニック	8
新潟大学附属病院	6
星整形外科医院	6
西新潟中央病院	4
おおくら耳鼻科	4
坂井眼科	4
さくらざわ眼科	4
新潟医療センター病院	3
富樫医院	3
新潟市民病院	2
三条三之町病院	2
つばめ皮膚科	2
ツチヤデンタルクリニック	2
もたにメディカルクリニック	1
計 26カ所	844

□栄養

【活動内容】

1. 栄養ケアマネジメントの実施

利用者全員に対して栄養ケアマネジメントを実施した。

今年度中に、栄養面に問題があり高リスクと1回以上判定された利用者は12名であった。昨年より、微減少した。

高リスクと判定された要因は、“褥瘡” “大きな体重減少”であった。

2. 歯科医師と連携を図り、利用者個々に適切な口腔ケアを提供する

車椅子で移動が可能な利用者は、岩室リハビリテーション病院の歯科を受診し、施設外への移動が難しい利用者は、市内の歯科医院が往診にて、口腔ケアを行ってくれた。

定期的に口腔ケアを行うことで、口腔内が清潔に保てたと思う。また、嚥下の相談もすることができて、心強かった。

3. 健康コラムを定期的に作成する

今年度は、行っていない。

4. 利用者一人ひとりのADL、嚥下や口腔、嗜好などを把握し、食形態を決定する

利用者と話をし、安全に食事ができるように心がけた。嚥下障害を認める利用者は多いと思う。今後も注意して見守っていく。

5. 安全かつ衛生的に食事の提供を行う

異物混入は5件あった。5件とも毛の混入であった。

給食会議で報告し、給食委託会社には、防止策を講じてもらっている。

6. 利用者の嗜好が配慮された献立または季節を感じる献立の作成

給食会議において、旬の食材を献立に使用してもらうように給食委託会社をお願いした。

また、今年度は令和元年の年でもあり、いつもと違う祝日があったりしてお祝いムードであったので、そういったことを意識し行事食を提供した。

給食委託会社から、寿司屋台の回数を減らす案が出ていたが、利用者が楽しみにしている行事食なので、生寿司を食べる回数を減らすことのないよう交渉した結果、すし屋台ではなく、すし膳での提供は可能というので、すし屋台1回、すし膳2回になった。

鍋料理については、利用者や職員にアンケートを取った結果、年1回の実施になった。

〈今年度実施した行事食〉

月	行事	献立
4月	施設開所日（1日）	赤飯 天ぷら など
	花見らしい献立（10日）	桜ごはん、若竹汁、桜餅風ようかん など
	退位の日（30日）	懐かしい昭和、平成のメニュー（デザート：パンナコッタ）
5月	即位の日（1日）	中華（エビ玉風チリソース 等）
	端午の節句（5日）	中華おこわ、柏餅など
6月	夏至（21日）	デザートの日（アイスなど）
	魚の日（19日）	鮎料理（選択メニュー）
7月	七夕（7日）	七夕そうめん デザート（スイカ）など
	土用の丑の日（20日）	うな重
	海の日（16日）	冷やし中華

8月	山の日（11日） お盆（15日）	グラタン 等 帰省した家族に食べさせたいような献立（海老フライ等）
9月	十五夜（13日） 敬老の日（16日） 秋分の日（23日）	栗ご飯 等 おはぎ
10月	ラーメン屋台（9日）（水） 体育の日（14日） 即位礼正殿の儀（22日）	塩ラーメン、醤油ラーメンの2種類から選択 ハンバーグ 等
11月	文化の日（3日） 寿司屋台（5日）（火） 七五三（15日） 勤労感謝の日（23日）	生寿司など デザートの日 赤飯 等
12月	冬至（22日） クリスマス（25日） 大晦日（31日）	南瓜料理 クリスマスメニュー（鶏肉の足、ケーキ） 大晦日メニュー、そば
1月	正月（1日） 魚の日（3日） 七草（7日） 鏡開き（11日） 小正月（14日） 鍋の日（28日～30日）	おせち料理 海鮮丼 七草粥（非常食の粥を使用） 五目いなり 等 15日（炊き込みご飯） 寄せ鍋 すき焼 もやしタンタン
2月	節分（3日） バレンタインデー（14日） すし膳（26日）（水）	豆菓子 チョコレート菓子 生寿司
3月	桃の節句（3日） ホワイトデー（14日） すし膳（19日）（木） 春分の日（20日）	ちらし寿司 生寿司など おはぎ

7. 給食会議の実施

毎月第3木曜日、14時から実施。

内容：利用者の要望や意見、調理や献立についての要望、行事食についてなど
利用者の声には可能な範囲で応えるように努めた。

8. 嗜好調査

食事全般に関する調査

期 間：10月2日～31日に実施した。

対 象 者：入所51名 通所・短期利用者31名（実施期間中に利用された利用者）

回答者数：入所32名 通所・短期利用者6名

回 答 率：入所62.7% 通所・短期利用者19.4%

調査方法：聞き取り

内 容：①食事全体について（色合い、盛り付け、温度、味）

②料理について（味、匂い、硬さ）③要望・意見

9. 健康教室

日にち	内容	担当	参加者数
4月	排便のしくみ	看護師	10名
5月	脳を活性化させるには	作業療法士	9名
6月	身近に潜む食中毒の話	管理栄養士	6名
7月	誤嚥予防	支援員	6名
8月	熱中症について	支援員	11名
9月	乾燥について	支援員	9名
10月	冬の「かくれ脱水」に注意!	管理栄養士	9名
11月	インフルエンザの予防と対策	看護師	12名
12月	脳を鍛えて生涯現役を目指そう!	作業療法士	10名
1月	中止	支援員	0名
2月	中止	支援員	0名
3月	大気汚染について	支援員	9名

2月と3月の健康教室は、施設内に風邪が流行したこと、新型コロナウイルス感染予防策をとって中止とした。

【感想・課題】

- ・特に大きな問題もなく一年を終えることができた。
- ・1月の新潟市監査で指摘を受けた栄養ケアマネジメントにおいて、どの職種が何をするかを明確にすることを次年度の課題として取り組む。

■総務係

施設運営事務全般に関わる業務、経理、労務管理、施設管理等を行った。

【活動内容】

- ・職員の入退職に関する手続き
- ・産休・育休に関する手続き
- ・職員健康診断
- ・ストレスチェック
- ・毎月末の経理処理
- ・利用料の作成、請求業務
- ・国保連への介護報酬請求業務
- ・現金管理
- ・備品、器具の保守管理
- ・次年度予算作成
- ・受診等の送迎
- ・施設内を巡視し給湯・雑用水・エアコン設備等の運転状況確認、節電の実施

□令和元年度 補助金・助成金

- ・新潟市 令和元年度結核予防費補助金 15,000円
- ・新潟労働局 人材確保等支援助成金
(介護福祉機器助成コース/目標達成助成) 1,500,000円

□令和元年度設備、備品更新

4月	KHP-1系統空調機入替工事
7月	ドラム式洗濯機購入
8月	PAC-1（厨房事務室）系統エアコン入替工事、全自動洗濯機購入
9月	施設内電話設備更新工事、全自動洗濯機購入
10月	ローラースライドフレキシL(トランスファー用具)購入
	厨房 ステレンスポータブルクーラー購入

【感想・課題】

開所から17年経過し様々な備品・設備等の老朽化が目立つ箇所が出ている。年度ごとに計画を立て備品・設備の改修を行ってはいるが、一度にすべては出来ないので利用者にご不便・ご迷惑をお掛けしていることが多々ある。限られた予算の中で無駄なく設備改修・備品の購入等をしっかりと行っていきたい。

業務委員会

職員の業務分担としての委員会活動報告

■権利擁護

令和元年度中期方針に基づき、障害者差別解消法の理解について取り組みを行った。

1. 苦情・要望

	内容	件数
5月	介助方法や支援内容に対して	1件
6月	他利用者に対して	1件
	介助方法や支援内容に対して	1件
11月	介助方法や支援内容に対して	2件
2月	施設に対して	1件
計	年間苦情・要望件数	6件

年間苦情・要望総数 6件（すべて解決・対応済）

毎月の職員会議において、苦情・要望内容の報告を実施した。

苦情・要望内容と1ヶ月後の評価を、毎月第三者委員へ報告を行った。

2. 虐待防止対策

①身体拘束等の廃止に向けた取り組み

毎月の職員会議において、身体拘束等に関する報告を実施した。

個別支援計画に組み込み、定期的に解除方法の検討を行った。

【今年度の身体拘束解除状況】

入所者 0件

・検討を行うが身体拘束継続の必要があり解除には至らなかった。

②虐待のチェックリスト

業務の振り返りチェックシートの実施

③不適切な支援に関する対応

マニュアル更新を行い、取り組みを強化した。

3. 権利擁護対策

①権利擁護に関する啓発活動

- ・意識向上ポイント（毎月の職員会議にて報告）
- ・法人の運営規程、倫理綱領、職員行動規範からの中から毎月1項目ずつを挙げ、職員に覚えてもらうよう周知した。
- ・虐待防止・業務の振り返りチェックリストの振り返りの集計結果と感想報告を実施した。
- ・職員向けの啓発ポスターを作成し掲示した。
- ・障害者差別解消法の理解

②メンタルケア活動・・・6月 卓球大会 2月 ボウリング大会

③成年後見制度利用支援

- ・施設として成年後見人との連携を図り、また利用者ご本人の意志確認の為、月1回以上の面談の同席や電話連絡を行った。利用者に特変があった場合は早急に連絡を行い、情報の共有を行った。
- ・金銭に関して月1回、出納帳の確認を成年後見人と行い、金銭の出し入れが適正に行われているか確認を行った。

【感想・課題】

- ・中期方針に掲げた、障害者差別解消法の理解について、取り組むことができなかった。来年度に向け、改めて取り組んでいきたい。
- ・新潟市の「ともにプロジェクト」について、あなぐま芸術祭等の地域交流活動を通じ、その取り組みに沿った活動を行うことができた。
- ・新たな試みとしては、メンタルケア活動として全職員対象に卓球大会を行った。試合以外でも練習から盛り上がり、職員同士楽しめる交流の場を提供できたのではないかなと思う。
- ・苦情要望については、件数は少ないが、介助方法や支援内容に対してや施設に対してというものが多くなってきている。今後の課題として、介助方法や支援内容を見直すとともに、不適切な支援への対応を強化していきたいと思う。

■安全

1. 褥瘡対策検討

入浴時、排泄介助時等に身体の観察を行い、異常発見時は看護師の確認後に褥瘡診療計画を作成した。支援員（介助方法）管理栄養士（栄養強化の有無）NS（処置方法）OT（移乗、座位、臥位）について検討し周知した。

年間を通じて3名の利用者に褥瘡が認められた。

- ・発生から1か月で完治した。1名
- ・良化と悪化を繰り返している。1名
- ・現在完治しており、常に予防に努めている。2名

【感想・課題】

職員間の連携により、発見から完治に向けた褥瘡診療計画は速やかに作成されており、それに基づいて対応をすることによって、ほとんどの方は短期間で完治することができた。しかし、なかには同様の場所に何度も褥瘡ができてしまう方がおられるため、今後は、予防に努

めるとともに褥瘡ができる根本的な原因を探っていかなければならない。

2. 特定行為について

令和元年度中期方針に基づき、医療的ケアを必要とする人たちへの支援を実施した。

令和元年度は喀痰吸引等研修に1名受講した。令和2年度は喀痰吸引等実地研修を充実させることで、体制整備を進めていきたい。

3. 事故報告集計

発生件数 1件

【内容】

65歳男性。居室よりコールがあり、介護職員が伺うと「両腕を頭まで上げてほしい」とストレッチの希望が強く聞かれた。介護職員が本人の両腕を万歳するように上げた際に「ゴキッ」と音がし、右腕に痛みを訴えられる。起床後、看護師が確認すると右肩に腫れがみられた為、湿布にて対応する。3日後に整形外科に受診し右上腕部頸部骨折と診断された。

【対策】

介護職員がストレッチやマッサージ等を依頼された際は、必ずリハビリ担当である作業療法士に相談する事を徹底する。夜間の作業療法士がいない場合の対策として作業療法士よりストレッチの注意点、ポイントの資料を作成してもらいそれに沿って対応する。

【経過】

その後以前と変わらない施設生活をおくられている。今後もマニュアルに沿った介助を徹底し行っていく。

4. ヒヤリハットレポート集計

発生件数 100件

〈発生場所〉

場所	居室	食堂	浴室	トイレ	リハ	デイ	その他
件数	57	6	7	12	4	0	14

〈形態〉

形態	転倒	転落	誤嚥	誤薬	管抜去	離設	その他
件数	33	25	1	8	0	0	33

〈要因〉

要因	確認不足	技量不足	状態把握不足	環境整備不足	利用者不注意	その他
件数	27	2	12	9	19	31

【感想・課題】

転倒、転落の件数が多くその中でも同じ利用者の方が立て続けに発生していた。ADLの低下も考えられるが、情報の共有、連携等うまくいかず対応も遅くなった。今後もっと迅速に対応できるよう多職種との連携も大事にしていきたい。また危険予知トレーニングも活用し事故を未然に防げる環境を作っていく。

5. 感染症対策

①インフルエンザ、感染性胃腸炎など

- ・県が報告している「感染症週報」を毎週確認し、インフルエンザ等の流行期には職員に手洗い、手指消毒の徹底を呼びかけた。
- ・手指消毒を強化する目的で、業務中は個々に手指消毒液を携行してもらった。
- ・今年度インフルエンザにかかった利用者0名、職員1名だった。
- ・4月に職員や入所者の3名が立て続けに胃腸炎を発症した。対策として、職員トイレにCELAを置き、トイレ使用後に便座を消毒してもらった。感染の拡大はなかった。

②新型コロナウイルス感染症予防対策

安全委員会とは別に、新型コロナウイルス感染症対策会議を開き、新型コロナウイルス感染症の感染予防策、施設内に濃厚接触者がでた場合の対策などを厚労省からの通達を基に検討した。

【感想・課題】

年度末に新型コロナウイルス感染症が世界中に流行し、感染予防策として手洗いが重要と言われてから、全国的にインフルエンザ感染者は少なかったようである。新潟県も流行程度で収束した。かたくりの里の職員、利用者にも感染者はいなかった。新型コロナウイルス感染予防策を機に職員のアルコール手指消毒液の携行が定着してきたように思う。来年度は、継続して感染症情報をチェックし、必要とあれば職員に情報提供し、また、まだ収束の目途が立っていない新型コロナウイルス感染症の感染者を出さない為に、より一層の感染拡大防止対策を講じていかなければいけないと考えている。

6. 備品・環境整備

①備品

【活動内容】

- ・消耗品の発注と管理、購入手配
- ・介護用品の管理、発注（オムツは除く）
- ・故障、破損物など修理依頼
- ・備品倉庫管理
- ・備品管理簿、備品貸出表の管理
- ・衣類紛失チェック表の管理

②環境整備

【業務内容】

- ・利用者の日常生活における環境整備、向上、職員業務の円滑さを目的とし、施設内環境整備、週間清掃、洗濯室掃除等の業務を遂行する。

年間活動

4月5日	ガラス・網戸清掃
4月12日	雨水濾過装置点検
4月14・15日	廊下、居室ワックス清掃
4月28日	貯湯槽清掃
5月20日～	衣替え
5月23～30日	ベットパット、枕、布団交換（冬→夏）

6月28日	エアコンフィルター及び換気扇パネル清掃
8月1日～31日	夏季大清掃
6月	衣替え
10月11日	ガラス・網戸清掃
10月16日～25日	ベッドパッド、枕、布団交換（夏→冬）、衣替え
10月12日	ガラス・網戸清掃
11月17日	廊下ワックス清掃
12月1日～31日	冬季大清掃
1月10日	エアコンフィルター清掃
3月	備品管理簿チェック

夏季期間除いて・・・食堂の空気清浄加湿器フィルター清掃

【感想・課題】

- ・消耗品の発注において過剰に発注し在庫をかかえる状態の物品もあった為、消費量の確認を定期的に行い無駄のない発注に努める。
- ・扇風機、ファンヒーターにおいて、使用時期を過ぎても一定の場所に放置された状態のものが数台見られた為、時期を見てメンテナンスも含め所在確認、台帳との照合を行い紛失等が無いようにする。

③施設設備更新等

令和元年度中期方針に基づき、施設設備の更新を実施した。

4月	KHP-1系統空調機入替工事 KHP-9、10、11、12号機撤去工事 電動ベッド修理
5月	厨房 製氷機修理
6月	厨房 スチームコンベクションオープンメンテナンス 地下タンク及び埋没配管定期漏洩調査
7月	デイサービス特殊浴槽部品交換 ドラム式洗濯機購入 受電用キュービクル修理 屋外発電機外箱塗装修理
8月	療護浴室リフト台車キャスター修理 PAC-1（厨房事務室）系統エアコン入替工事 全自動洗濯機購入
9月	全自動洗濯機購入 1階電灯盤ブレーカ取替工事 施設内電話設備更新工事
10月	浄化槽フロートスイッチ交換 ローラーライドフレキシL(トランスファー用具)購入 厨房 スチームコンベクションオープン修理 厨房 ステレンスポータブルクーラー購入

11月	給湯室 扉修理 エアマット アドバン修理 AC-1（厨房調理室）系統エアコン入替工事 厨房 ワーキングカート I 型購入
1月	厨房 ガス炊飯器購入

【感想・課題】

開所から17年経過し様々な備品・設備等の老朽化が目立つ箇所が出ている。年度ごとに計画を立て備品・設備の改修を行ってはいるが、一度にすべては出来ないので利用者にご不便・ご迷惑をお掛けしていることが多々ある。限られた予算の中で無駄なく設備改修・備品の購入等をしっかりと行っていきたい。

7. 腰痛予防対策

令和1年12月17日（火） 「5分でできる腰痛予防」ゆきわりの里 PT 幸田
令和2年・2月 介護負担に関するアンケートの実施

【感想・課題】

今年度も、ゆきわりの里幸田 PT に協力して頂き講習会を行った。年2回の講習会を予定していたが、1回の開催となってしまった。短時間でできるわかりやすいメニューなので、幸田 PT に協力していただき、定期的に行って行きたい。2月に介護負担に関するアンケートの実施を行い、腰痛で悩んでいる職員がたくさんいることがわかった。ストレッチや準備運動の大切さを伝えると同時に、他の委員会とも連携、協力して、腰痛で悩む職員が少しでも減るように取り組んで行きたい。

8. 危険予知トレーニング(KYT)

【活動内容】

毎月1回 KYTトレーニングの4ラウンド法を用いて各委員会の会議内で行った。
例題は特にこだわらず、安全委員会で決定した。毎月1題。

- ① 全職員に課すのは、第2ラウンドの実施と個人的重要度の評価。
- ② 各委員会で委員から提出された“第2ラウンドの内容”を共有。
- ③ 委員長は、委員からでた重要度◎と○を集めてデータで安全委員会に提出。
- ④ 安全委員会は、集まったデータを基に委員会で第3，4ラウンドまで行い、第4ラウンドで決めた内容を“ヒヤリハット”にとらえ、職員会議で報告。
さらに、ポスターを作成し、事務連絡で周知。
- ⑤ 委員会に属さない職員には、例題を直接渡し、安全委員会に提出。

【感想・課題】

今年度より本格的に取り組んできたが職員に周知されていない部分や、例題の内容など改善すべき点が多々あった。今後例題の内容など幅広いジャンルから、いろいろな場面の危険予知を行って。職員一人一人に実施していただきたい事なので、例題用紙に記入した危険ポイントも一人一人提出してもらい、再度全職員に周知してもらえるように説明を行うことで、リスクマネジメント活動を実施していきたい。

■生活向上委員会

1. 入浴

【活動内容】

- ・入浴日程表の更新、見直し
- ・入浴日、入浴時間の変更、検討
- ・入浴チェック表の作成
- ・物品の管理
- ・浴室環境整備
- ・マニュアルの更新

【感想・課題】

- ・療護浴室の特殊浴槽の給湯温度の低下、給湯量の減少がみられたが、浴槽内部のフィルター掃除を実施したことで改善された。
- ・入浴時間の確認、調整を行い対応した。

2. 排泄

【活動内容】

- ・オムツ交換時間の見直し、変更
- ・排泄チェック表の作成
- ・オムツ・パットの管理
- ・毎週のオムツ・パットの発注
- ・使用オムツの見直し

【感想・課題】

- ・男性利用者の中でオムツいじり等の行為が見られる方がおり、パットやオムツを多く重ね使用していたため、今後は漏れない工夫や当て方を検討していく必要がある。
- ・女性利用者は吸収量の多いパットを導入することで、夜間帯のオムツ交換を減らし、利用者の夜間良眠、職員の業務負担軽減につながった。
- ・居室に排泄物品が置かれたままになっている課題について、トイレ4に排泄物品を置くことで若干改善されたが、まだ解決に至っていないため、来年度は更なる改善を目指す。

3. 食事

【活動内容】

- ・食席の見直し、変更。
- ・職員の人員配置の変更
- ・テーブルの見直し、環境整備
- ・居室配膳方法の変更
- ・月一回給食会議への出席
参加利用者の出席を促す
利用者から出た食事に関する意見の収集
- ・2月、3月に行われた鍋料理の食席の決定
- ・食席や食事に関する苦情、要望にその都度対応した。

【感想・課題】

- ・食事介助者増加の為、食席・人員配置変更した。

今後は利用者の意見をもっと取り入れて充実した食事環境を作っていきたい。

4. 整容

【活動内容】

- ・マニュアルの更新
- ・顔拭きタオル利用者のチェック表作成・管理（髭剃りを含む）
- ・理容室利用者の調整（月2回）
- ・美容室利用者の調整、美容室との連絡調整（A社・・・月1回、B社・・・2ヶ月1回、C社・・・月1回）
- ・整容に関わる備品の整備
- ・口腔清掃の介助を行っている方のチェック表作成、管理
- ・口腔ケア用品の発注、管理
- ・歯とお口の治療管理表の伝達、管理
- ・歯磨き時の注意事項がある利用者は居室に「歯磨きの注意点」の図の掲示
- ・訪問歯科の訪問日の調整（管理栄養士）

【感想・課題】

- ・今年度、美容室1社と契約解除となり、2社で対応することになった。毎月1回来て頂いている美容室に相談依頼し、月2回来て頂くことで対応できた。
- ・通所利用者で新規で理容室を使いたい方も増えてきている為、今後相談しながら調整していきたい。

5. 購買、買い物サービス

- ・毎週月曜（むつみ屋）、火曜日（リハビリ病院売店）に購入希望のFAXを送り、水曜日（むつみ屋）、土曜日（リハビリ病院売店）に品物を受け取る際に、支払等の援助を行った。
- ・イオン宅配サービスは、ネットサービスに移行になり廃止された為終了した。
- ・古寺新聞店の買い物代行サービスは、注文システムがFAXに変更になるが継続されている。
- ・カワチャ様より施設に来て頂き、衣料品販売を行った。

【感想・課題】

- ・むつみ屋、リハビリ病院売店での購入は問題なく行えている。
- ・新聞店の買い物代行サービスは、注文システムがFAXに変更になったが問題なく行えている。
- ・衣料品に関しては今年度より買い物支援を実施する予定もあった為、衣料品販売は行わない予定であったが、利用者より行ってほしいとの声も聞かれたため秋にカワチャ様に来て頂き衣料品販売を行い問題なく行えた。

6. ノーリフト

【活動内容】

- ・スリングシート使用に関する施設内研修
- ・スタンディングリフト導入の必要性についての検討

【感想・課題】

- ・リフト使用時に起きたヒヤリハットに関して、研修委員会と協力し、施設内研修を実施した。研修時、間違った使用方法をしていたこと、個別のリフト使用に悩んでいた職員もおり、適宜講習する必要性を感じた

■防 災

令和元年度中期方針に基づき、防犯・防災体制の確立に向けて取り組んだ。

【活動内容】

日付	実施内容	備考
4月	新規採用者向け洪水等の避難確保訓練 備品ポータブル電源点検	参加2名 (藍澤、田村柊)
4月16日	非常通報装置点検 (業者)	
5月21日	春期夜間想定避難訓練 春期避難訓練の反省と火災防火設備の説明 (火災 報知器、消火栓、防火扉等)	参加3名 (真柄、渡辺、武石)
6月	備品ポータブル電源点検	
7月11日	非常通報装置点検 (業者)	
8月20日	防犯訓練	参加6名(田村一、斉藤、 佐藤、若月、川瀬、相浦)
10月15日	秋期総合避難訓練 火災想定避難机上訓練 →各委員会で避難区画の確認を行う	参加5名(熊谷、遠藤、石 井、諸橋、和田) 1F職員
10月16日	非常通報装置点検 (業者)	
11月	備品ポータブル電源点検	
12月	雪害対策説明、洪水等の避難確保訓練	
1月21日	非常通報装置点検 (業者)	
1月29日	電話連絡による職員の緊急招集訓練	参加24名
2月	次年度計画	
3月	備品ポータブル電源点検 防火・防災年次報告	

【感想・課題】

- ・火災想定避難訓練を年2回開催しているが、参加した職員以外にも避難区画等について確認してもらうため、各委員会で避難についてシミュレーションしてもらった。不審者対応に関しても、年1回でも全職員に確認してもらう機会を作りたい。
- ・避難訓練、防犯訓練の両方とも上手く行えていたと思う。
- ・洪水時の避難に関して机上訓練は行っているが、今年度は実際に訓練を実施していきたい。
- ・緊急連絡網訓練で、緊急招集した場合、何人の職員がかけ付けられるかを調べた。連絡のついた職員のうち、19人が来ることができ、そのうち15人が30分以内で到着できるとの回答があった。緊急時、集まった職員に対し「何をどうしてもらうのか」と言った指示を伝えられる体制の準備も必要だと感じた。
- ・6月に停電での作業があった関係で、停電時の対応を確認することができた。今後も周知できるようにしていきたい。

■研修

令和元年度中期方針に基づき、職員のキャリアアップ、研修制度への取り組みを行った。

1、研修

【活動内容】

- ・研修マニュアルの管理
- ・施設内研修・法人内研修について開催の調整
- ・施設外研修への派遣・手続き
- ・新人研修についての調整

① 施設外研修

日付	研修・会議内容	場 所	出席者
5月14日	西区西蒲区このゆびとまれ研修会	第2みずほ園	相浦・藍澤
5月17日	Goodjob つばめ推進事業担当者説明会	中央公民館	田川
5月20日	キャリアパス構築支援研修	新潟ユニゾンプラザ	増田
5月30日	コミュニケーションスキルアップ研修	新潟ユニゾンプラザ	遠藤
5月31日	ストレスマネジメント研修	新潟ユニゾンプラザ	石井
6月5日	エルダー研修	新潟ユニゾンプラザ	藤口
6月8日	新潟県相談支援専門員協会 全体研修	小千谷総合福祉センター	星野・相浦・藍澤
6月12日・13日	関ブロ職員支援力アップ勉強会	東京ベイ幕張ホール	増田・小峰
6月17日	災害福祉広域支援ネットワーク総会	新潟ユニゾンプラザ	増田
6月18日	安全運転管理者等法定講習	西蒲地区交通安全センター	増田
6月21日	県身協第1回総会 庶務担当課長会議	ニューオータニ長岡	増田・川瀬
6月26・28日	新潟県相談支援従事者研修（前期）	朱鷺メッセ	若月
6月26日	安心してご利用頂ける職場づくり	ハイブ長岡	武石
6月28日・29日	社会福祉実習指導者研修	新潟ユニゾンプラザ	相浦
7月4日	「接遇」研修（初任者）	新潟ユニゾンプラザ	池田
7月5日	西区・西蒲区ボランティア担当研修会	西川学習館	吉田
7月8日	関ブロ臨時施設長会議	全社協灘尾ホール	増田・亀山
7月12日	新潟県身体障害者職員研修会	ニューオータニ長岡	番場
7月18、19日	障害者の生活支援研修	新潟ユニゾンプラザ	相浦・若月
8月1日	社会福祉職員スタートアップ研修	新潟ユニゾンプラザ	田村
8月6日	令和元年度成年後見制度担当者研修会	新潟県自治会館	増田
8月20、21日	社会福祉施設職場研修担当職員研修	新潟ユニゾンプラザ	藤口・土田
8月27・28日	全国身体障害者施設協議会研究大会	札幌コンベンションセンター	星野・武石・大平
8月28日	相談支援初任者・現任者向け研修	新潟市東区プラザ	相浦
8月30日	スーパービジョン研修	新潟ユニゾンプラザ	増田・星野
9月5日	地域福祉コーディネーター育成研修	新潟市役所本館	増田
9月5・6日	相談支援従事者初任者研修（後期）	新潟県自治会館講堂	藍澤
9月9日	新潟県債額福祉支援チーム員基礎研修	新潟ユニゾンプラザ	増田
9月10日	新潟県自立支援協議会の委員就任	新潟県自治会館	増田
9月10日	気づく力研修	新潟ユニゾンプラザ	渡邊
9月13日	コンプライアンス研修	新潟市総合福祉会館	増田

9月14・15日	高次脳機能障害への心理療法セミナー	万代市民会館	藤口・大平・藍澤
9月20日	西蒲区ボランティア・市民活動センター 運営委員会委員の推薦及び第1回委員会	巻ふれあいセンター	吉田
9月20日	「接遇」リーダーコース	新潟ユニゾンプラザ	近藤
10月3・4日	関プロ職員研修大会	ホテルイースト21	増田・藤口・大平
10月5日	高次脳機能の未来を考えるセミナー	新潟ユニゾンプラザ	藍澤
10月8日	下越地区県身協スポーツ交流会	新潟ふれ愛プラザ	増田・諸橋
10月17日	コーチング研修	新潟ユニゾンプラザ	川瀬・海津
10月18日	サービス管理責任者及び児童発達支援責任者更新研修	新潟県自治会館	星野
10月23日	認知症ケア・対応研修	新潟ユニゾンプラザ	織田島
10月24日	新潟市障がい者地域自立支援協議会	白山会館	増田
10月25日	県身協支援担当課長会議	ニューオータニ長岡	亀山・武石
10月25日	新潟県大学創立10周年記念行事	ANAクラウンプラザホテル	増田
10月30日	第69回新潟県民福祉大会	南魚沼市民会館	増田
10月30日・31日	キャリアパス対応生涯研修課程（初心者コース）	新潟ユニゾンプラザ	富山希望
11月6・7日	キャリアパス対応生涯研修課程（チームリーダーコース）	新潟ユニゾンプラザ	藤口・川瀬
11月12日	対人援助職のためのファシリテーション	新潟ユニゾンプラザ	相浦
11月12日	県立吉田病院地域連携会議	県立吉田病院	五十嵐・小嶋
11月12日	メンタルヘルスセミナー	新潟ウエルネス	川瀬
11月12・13日	キャリアパス対応生涯研修課程（中堅職員コース）	新潟ユニゾンプラザ	高橋
11月15日	県身協庶務担当者会議	ニューオータニ長岡	増田・亀山 川瀬・田村
11月18日	障害者虐待防止権利擁護研修（1日目）	新潟ユニゾンプラザ	海津
11月19日	障害者虐待防止権利擁護研修（2日目）	新潟県自治会館	海津
11月22日	危険物事故防止研修会	新潟市消防局	田村
11月24日	地域共生ホーム全国セミナー	富山国際会議場	吉田
11月26日	関プロ第2回施設長会議	全社協新霞が関ビル	増田・亀山・川瀬
12月6日	相談支援専門員現任者向け研修	新潟市役所	星野
12月6日	サービス管理責任者及び児童発達支援責任者更新研修	燕三条地場産業振興センター	増田
12月7日	相談支援こわくない～実務の心得～	三条商工会議所	藍澤
12月11日	モチベーションアップ研修	新潟ユニゾンプラザ	田村
12月18日	看取りケア研修	新潟ユニゾンプラザ	和田
12月19日	サービス管理責任者及び児童発達支援責任者更新研修	新潟県自治会館	田川
12月23日	口腔ケア研修	新潟ユニゾンプラザ	田村
1月9日	短期入院協力病院短期入所協力施設意見交換会	JA長野県ビル	亀山
1月9・10日	障害者虐待防止リーダー職員研修会	全社協霞が関ビル	本多
1月15日	応急手当普及員再講習	新潟市消防局	亀山
1月22日	応急普及員再講習（1回目）	新潟市消防局	星野
1月29日	応急普及員再講習（2回目）	新潟市消防局	星野
2月5日	応急普及員再講習（3回目）	新潟市消防局	星野
2月6日	精神科アウトリーチ推進研修セミナー	ニューオータニ長岡	増田

2月7日	新潟市障がい福祉サービス管理者連絡会	万代シルバーホテル	増田・星野
2月8日	ブラッシュアップ研修会	リサーチコア	相浦
2月18・19日	地域生活支援推進研究会議	グリーンタワー幕張	星野
2月20・21日	関プロ第2回総会・第3回施設長会議	ホテル国際21	増田
2月20日	発達障害児者支援者向け研修会	新潟県自治会館	相浦

【感想・課題】

- ・施設外研修では職員から希望を取り、希望する研修に参加していただいたが、今後はその研修の受講前の理解度を上げるためにはどうしたらよいか、また、研修で得た知識や技術を施設で取り入れていくための伝達方法等の検討をしていきたい。
- ・スーパービジョン研修に職員2名派遣した。
- ・福祉職員のキャリアパス対応生涯研修にチームリーダーコース2名、中堅コース1名、初心者コース1名を派遣した。
- ・かたくりの里における職員のキャリアパスを作成した。来年度に向け職員自らのキャリアアップの道筋を描くことができるように周知していく。

②施設内・法人内研修

日付	研修名	講師名	参加人数
5月27日	応急手当普及講習会（救命入門コース）	増田・亀山	12名
5月31日	応急手当普及講習会（救命入門コース）	増田・亀山	10名
10月10日	応急手当普及講習会（救命入門コース）	増田・亀山	6名
11月11日	応急手当普及講習会（救命入門コース）	増田・亀山	6名
12月12日	応急手当普及講習会（救命入門コース）	増田・亀山	4名
1月28日	応急手当普及講習会（救命入門コース）	増田・亀山	7名
11月19日	感染症対策について	五十嵐	13名
12月17日	心と体が楽になる！～自立神経の整え方～	幸田	19名
2月12日	車いすでのスリングシートの敷き方	河合・田川	6名
3月4日	車いすでのスリングシートの敷き方	田川	7名
3月6日	車いすでのスリングシートの敷き方	田川	4名
3月20日	車いすでのスリングシートの敷き方	田川	5名

【感想・課題】

- ・施設内研修では、全職員に受講していただくためには回数が増えるため、講師の負担が大きかったので、講師の人数を増やし負担の軽減が図れるようにしたい。
- ・応急手当普及講習は、全職員が受講できて良かった。
- ・来年度は感染症対策として、嘔吐物の処理方法を全職員が周知できるよう、療護係や安全委員会と連携していきたい。

② 新人職員研修について

新人職員研修マニュアルの見直しを行い、職員1名に対し研修を実施した。

【感想・課題】

新人職員研修計画表に沿って、それぞれの業務や知識・技術・仕事に取り組む姿勢等を理解して

いただき、指導職員もまた、指導することで自分自身を振り返ることができたと思います。エルダー研修に職員1名受講後、新人職員と指導職員に研修内容を伝達することができて良かった。

2. 実習生受け入れ

期間	学校名	実習名	人数
8月16日～9月19日	新潟医療福祉大学	相談援助実習	1名
8月26日～9月26日	国際こども・福祉カレッジ	相談援助実習	1名
9月2日～9月17日	新潟こども医療専門学校	保育実習	1名

【感想・課題】

3名の実習生を受け入れた。実習生が2名までは対応可能だが、3名重なりと一人ひとりに対する細やかな対応が難しかった。

■日中活動

1. 日中活動

①趣味的活動

【活動日】 毎月の日中活動予定表に沿って実施

【活動時間】 13:45～14:45

【活動項目】 カラオケ、手工芸、書道、調理レク、スポーツレク、映画
マッサージ、散歩、ゲーム

【感想・課題】

- ・職員数が増え余裕が出来、活動を増やして行えるようになって良かった。
- ・スポレク(ボッチャ、カーリンコンなど)は、特定の職員に頼っているため、来年度はもう少し出来る人を増やし、特定の人だけではなくいろんな人からやってもらえるように頑張っていきたい。

②調理レク

【活動内容】

職員、利用者と共に調理を行い、出来上がったものをおいしく頂く。

実施日	実施内容	参加数
4月11日(木)	ミニドラ焼き	31名
5月10日(金)	クレープ	24名
6月10日(月)	コーヒーゼリー	37名
7月9日(火)	ところてんフルーツポンチ	19名
8月14日(水)	コーヒーかき氷	21名
9月12日(木)	フルーツスムージー	29名
10月11日(金)	スイートポテト	33名
11月18日(月)	焼き芋	
12月17日(火)	クリスマスケーキ	34名
2月14日(金)	チョコレートフォンデュ	31名
3月24日(火)	ひなまつりフルーチェ	28名

【感想・課題】

- ・おいしく、ボリュームもあり良かったとの感想をいただき、概ね好評であったと思われる。

今後は甘い物だけではなくしょっぱい物も作っていききたい。

- ・2階食堂でやれると、スムーズに行えるので今後も食堂で行っていただけらいいと思う。

2. 外出支援

【活動内容】

利用者の外出希望アンケートをとり、外出の実施を計画した

行 先	参 加 人 数									
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
新潟方面	1	3	1	1		3		1		10名
燕方面	2	2				1	3			8名
弥彦方面	1							3		4名
岩室散策	1						2		1	4名
巻方面		2								2名
その他	2	1	1							4名

【感想・課題】

- ・アンケート結果の希望に沿って、計画した外出支援が予定通り無事に終了出来て良かった。
- ・今年度はなるべく担当の職員が同行するよう意識して振り分け、他部署の職員やパート職員等の協力も仰ぎながら支援出来た。
- ・来年度も個別支援という形で外出支援を予定している。各利用者と担当職員で話し合っって頂き、利用者の希望に沿えるような外出支援となるよう、委員会としては、とりまとめや全体の把握、日程の調整等を行っていききたい。

3. ボランティア

【活動内容】

- ・ボランティア行事・施設行事の際のボランティアの依頼。
- ・慰問などの受け入れ
- ・にいがた市元気力アップサポーター制度登録。
- ・個人ボランティアの活動のサポート

【ボランティア活動】

団体名	人数	活動日	活動内容
元気力アップサポーター (傾聴ボラ)		毎週月曜	利用者1名の話の傾聴
元気力アップサポーター (日中活動支援)	2名	書道、手工芸、 調理レク	日中活動の補助
新潟医療福祉大学	2名	6月2日	運動会補助
吉田中学茶道部	12名	8月6日	お茶会
からむしや	5名	6月20日 8月7日 9月29日	機織り体験

新潟県卓球バレー協会	6名	7月17日	卓球バレー体験会
個人ボランティア	1名	平日午前	機能訓練室補助
サマーチャレンジ	1名	夏休み	高校生 体験ボランティア活動 日中活動補助
新潟県カーリング協会	1名	9月18日	カーリンコン交流会
新潟理容美容専門学校	5名	9月29日	かたくり祭ファッションショーヘアメイク
ナリス化粧品	2名	9月29日	かたくり祭ファッションショーヘアメイク
いわねちゃんダンサーズ		9月29日	かたくり祭 イベント
岩室民族資料館友の会	5名	12月22日	門松作り
山篠建設	1名	1月10日	もちつき会

【感想・課題】

今年も多くボランティアの方に来所していただいた。地域との交流が増えた事で、色々な活動が行われるようになり、利用者にも楽しんでいただけたのではないかと。ただし、継続したボランティア活動を行ってくれる方が少ないので、今後は、ボランティアが長く活動しやすいような環境を整えていければと思う。

4. 行事

①お花見会 4月12日、16日 ケアハウスだいろ

【活動内容】

ケアハウスだいろの庭を借り、お茶菓子を食べながらお花見を楽しんだ。

【感想・課題】

1日目は少し天気も悪く、肌寒かったが、外でお茶をする事ができた。寒かった場合に施設の中で桜を見られるように手配しておいた事はよかった。桜を見ながらお茶菓子とお茶を楽しむ機会はありませんので、継続していけたらと思う。

②運動会 6月2日(日) かたくりの里食堂

【活動内容】

玉入れ、借り物競争、パン食い競争、利用者職員混合リレーの4種目を利用者は紅白のチームに分かれ、ご家族やボランティアの方々と楽しんだ。

【感想・課題】

家族が大勢参加して下さり、利用者との触れ合いが見られて、喜ばしいことだった。

いつもよりボランティアの人数が少なく、職員の負担が大きかったので来年度はボランティアの人数関係なく、円滑に行えるよう、職員配置をしていきたい

③お茶会 8月6日 日中活動スペース 参加人数：32名

【活動内容】

吉田中学校茶道部の皆さんよりお茶を点ていただき、お茶菓子と共においしくいただいた。

【感想・課題】

今年度は、中学校の茶道部の皆様が快く引き受けてくださったので、開催できた。子供たちが点

てくれるお茶を利用者もおいしくいただいていたので、来年度以降も継続していけるように計画していきたい。

④かたくり祭 9月29日(日) かたくりの里1階スペース

【活動内容】

イベント（いわねちゃんダンス、ファッションショー）の他、他福祉施設による販売や各種飲食販売を行い、利用者と地域の皆様の交流を楽しんだ。

【感想・課題】

今年度は、岩室あなぐま芸術祭との合同企画としてファッションショーを行ったが、利用者はもちろん、地域の方にも喜んで頂けた事は大きな成果だと思う。また、地域の方々には、様々な活動で多大な協力をしていただいた。今後もこの繋がりを大切に、地域の方にもかたくりの里ができる事をかたくり祭を通して還元していけたらと思う。

⑤カーリンコン・ボッチャ交流会 日中活動スペース

参加人数：カーリンコン15名、ボッチャ：20名

【活動内容】

あなぐま芸術祭と共同企画として、パラスポーツ競技のカーリンコンとボッチャを地域の方と共に楽しんだ。

【感想・課題】

<カーリンコン>

- ・今年度は保育園児の人数が多かったので、園児の待ち時間が長くなってしまった。1試合の時間を最初、15分に設定していたので、もっと短くし、試合の回転を早くすれば良かった。
- ・保育園児、利用者共に楽しんでいたので良かった。

<ボッチャ>

- ・地域の方も職員にも参加してもらい、大変盛り上がっていた。初めてボッチャをした方も楽しんでいただけたようで良かった。
- ・かたくりの里の利用者にとっても外部の人との対戦ができ、楽しんでおられた。

⑥クリスマス会 12月21日(金) 日中活動スペース 参加人数：42名

【活動内容】

イベント（マジックショー、歌、踊りなど）を楽しみ、利用者全員にプレゼントの贈呈とケーキとジュースをみんなで一緒に食べ、クリスマス気分を味わった。

【感想・課題】

当初、ボランティアには30分程度の企画の依頼をさせていただいていたが、1時間近くの様々な企画を考えて下さり、直前になって予定を組みなおす等、時間の調整が必要になってしまった。また、プレゼント贈呈の仕方などスムーズに行えるようもう少し考慮すべきところはあったが、企画や会食（ケーキ、飲み物の準備）等、滞りなく終了できたと思う。

⑦門松作り 12月22日(土) 地域交流スペース 参加人数：13名

【活動内容】

ボランティアによる門松作りを見学し、正月準備をした。

【感想・課題】

今年も門松作りを行う事ができた。伝統的なお正月を迎える準備として、利用者も楽しみにされているので、今後も継続していきたい。

⑧餅つき会 1月9日(水) 地域交流スペース 参加人数：41名

【活動内容】

ボランティアより協力頂き、杵と臼で餅つきを行い、つきたての餅を皆で楽しんだ。

【感想・課題】

事前に臼をチェックせずに行ったため、臼の汚れに気づかず開始が遅れてしまった。餅つき機も併用していたので、利用者への餅の提供ができなくなることは無かったが、事前に確認しておくべきだった。安全には十分配慮し、今後も継続していきたい。

5. 施設外行事

令和元年度中期方針に基づき、地域共生社会の実現に向けて取り組んだ。

①保育園 5歳児との交流会 5月30日(木) 岩室保育園 参加人数：5名

【活動内容】

岩室保育園を訪れ、5歳児と共に歌やふれあい遊びを楽しんだ。

【感想・課題】

園児のかわいらしい歌や踊りを見て、利用者も大変喜ばれていた。

②オセロ交流会 6月28日(金) 新潟ふれ愛プラザ 参加人数：3名

【活動内容】

令和元年度県身協オセロ交流会に利用者3名が参加した。

【感想・課題】

決勝トーナメントに進めなかったが、目標の1勝は皆さん達成したことと、他施設の方々との交流を楽しめたようで良かった。

③七夕会 7月5日(金) 岩室保育園 参加人数：6名

【活動内容】

園児による歌や踊りの発表や、ふれあい遊びを共に楽しんだ。

【感想・課題】

かわいらしい園児との交流で涙を流しながら喜んでおられた。かたくりの里の利用者の短冊も飾って頂き、皆さん喜ばれていた。

④スポーツ交流会 10月8日(火) 新潟ふれ愛プラザ 参加人数：3名

【活動内容】

令和元年度県身協スポーツ交流会に利用者3名が参加した。

【感想・課題】

- ・負けて(予選敗退) 残念だったが楽しかった。
- ・他施設のうまいプレーを見学しているのも面白かった。
- ・事故や怪我無く無事終了でき良かった。

⑤あなぐま芸術祭 9月1日(土)～9月9日(日) 岩室温泉街

【活動内容】

- ・岩室地区で行われた、あなぐま芸術祭に利用者が作品を出展した。
- ・出展の他に、作品鑑賞に希望利用者が参加した。
- ・かたくりの里にて、障害者スポーツ(ボッチャ、カーリンコン)の体験会を行った。
- ・かたくり祭と協働し、ファッションショーを開催した。

【感想・課題】

- ・今年度は、実行委員として企画・計画の段階から関わり、様々な活動が行われた。利用者の皆様も興味のある活動に参加でき、地域の方との交流を深められていた。
- ・地域の方の多大な協力を得て、ファッションショーが開催できた。かたくりの里の利用者も観に来てくれた方も、感動したとの感想をいただき、またこのような企画ができればと思う。
- ・地域と福祉の協働事業として、今後も関わっていければと思う。

⑥岩室産業祭り 10月20日(日) 岩室体育館 参加人数：2名

【活動内容】

日中活動やリハビリで制作した作品の販売を利用者と共に行った。

【感想・課題】

年々、かたくりの里の作品を楽しみにされている方が増えてきた印象である。利用者に参加しているので、声をかけてくれる方も多くなってきた。
利用者も出店を励みに作品を作っているの、今後も継続していきたい。

⑦西蒲高等特別支援学校文化祭 てまり祭 11月16日(土)

【活動内容】

作品販売を職員が行った。

【感想・課題】

毎年参加させていただいているので、作品を楽しみにされている方が声をかけて下さるようになった。利用者は一緒に行かないが、売れ行きを楽しみにされているので、継続して参加したい。

■情報管理

【活動内容】

年月	情報管理	広報
H31年4月	新年度マニュアルの発行	かたくり通信47号発行
R2年5月	入所利用者手順書更新開始(～6月)	写真印刷・掲示・配布
7月		かたくり通信発行準備

8月		かたくり通信48号発行
10月		写真印刷・掲示・配布
11月		かたくり通信発行準備
R2年1月	業務マニュアル更新開始	かたくり通信49号発行
2月		写真印刷・掲示・配布
3月	業務マニュアル編集	かたくり通信発行準備 写真印刷・掲示・発行

※通年

種類整理・管理、スタッフルームホワイトボード整理、PC内データ整理
行事等活動時の写真撮影

※随時

Facebook、ホームページの管理、更新
救急隊への情報提供カードの更新
新規入所者の情報整備
PDCAサイクルを用いた委員会業務の改善

【感想・課題】

- ・ 広報誌は12月発行の49号が1月にずれ込んでしまった。広報誌作成に時間が取れなかったことが要因の一つ。作成時期を早め、余裕を持って作成できるようにしていく。
- ・ 写真印刷・掲示・配布は年3回行えた。行事の頻度、写真の枚数、印刷にかかる時間を考えると、年3～4回程度であれば負担なく継続できる。
- ・ 行事の写真が少ない。撮影を拒否している方もいらっしゃるが、毎回同じ方の写真が多くなっている。
- ・ 2階スタッフルームのホワイトボードが煩雑だったため整理した。来年度はより見やすくなるよう、活用方法を検討していく。
- ・ 業務の手順書を更新した。新規利用者に関しては、担当職員だけでなく、フェースシートやADL表も含め、事前調査に行った主任・係長も一緒に作成していく。
- ・ 回覧文書の遅滞があり、より早急に回覧できるようPDCAサイクルを用いて改善に努めた。結果としては、対策以前は2～3ヶ月かかっていた期間が、回覧終了までに1ヶ月程度に短縮できており、効果が見られた。

■業務検討会

【活動内容】

平成31年度中期方針に基づき、第三者評価基準・ケアガイドラインから、かたくりの里が取り組まなければならない事、施設としてあるべき姿の想定、サービスの向上、業務の効率化等の課題や、運営項目における課題を抽出し、改善点として提案した。課題やテーマの提案や改善は、業務検討会において、PDCAサイクルを意識して改善計画、実施計画・実行・評価・改善、是正処置を実施した。

1. 第三者評価・ケアガイドラインの活用について

今年度は業務検討会において、新潟県第三者評価基準についての説明会を実施し、メンバ

一による自己評価を実施した。来年度は2021年の第三者評価受審に向けた取り組みを施設全体で取り組んでいく。

身障協ケアガイドラインの自己評価より抽出された課題についてPDCAサイクルを意識して検討を重ねることができた。

2. 課題検討について

ケアガイドライン等により抽出された課題についてPDCAサイクルを利用し、以下の課題について解決へ向けての取り組みを行った。

- ・ボランティアや実習生受け入れ時の事故への対応策
- ・短期入所利用時の体調不良者への対応について
- ・回覧文書の早期回覧について
- ・夕食後の流れについて
- ・利用者支援について
- ・食事時のおしぼり・お茶出しについて
- ・手荒れ予防の洗剤や手指消毒について
- ・2階給湯室での利用者事故防止について
- ・給湯室冷蔵庫の使用に関して
- ・配薬について
- ・ナースコール対应用 PHS の水没や落下による故障を防ぐ
- ・休日の金銭管理、ご家族からの書類等受け取りについて
- ・個別支援計画実施に伴うケース記録の記入について

3. 施設と利用者の話し合い

【活動内容】

- ・毎月、第4週目「利用者と施設の話し合い」を実施。実施する為の準備・段取り。
- ・月間予定表の貼り出し。

話し合い内容

実施日	参加数	内容
4月27日	31名	おしぼり廃止や買い物代行、外出支援について
5月25日	28名	お茶会について、利用者からの要望・意見
6月22日	27名	買い物サービス、耳掃除、オセロ交流会について
7月27日	31名	施設設備、新規入所者、スポーツ交流会について、利用者からの要望
8月24日	29名	空調設備、かたくり祭、共生フォーラム、実習生について
9月28日	33名	実習生、施設設備について、利用者からの質問
10月26日	28名	職員動向、施設設備、権利擁護の取り組みについて
11月24日	27名	食事時のお願い、換気、クリスマス会について
12月27日	28名	職員動向、空調設備、餅つき会について、利用者からの要望
1月25日	31名	職員動向、新規入所者、豆まき、鍋の日、衣料品販売について
2月28日	25名	職員動向、新規入所者、外出支援について
3月24日	29名	職員、利用者動向、施設設備について

6 外部行事参加状況

■岩室保育園児との交流会

5歳児との交流 令和元年5月30日(木) 岩室保育園 参加者 5名
七夕会 令和元年7月5日(金) 岩室保育園 参加者 6名

■下越地区県身協オセロ交流会

令和元年6月28日(金) 新潟ふれ愛プラザ 参加者 3名(1チーム)

■下越地区県身協スポーツ交流会(ボッチャ)

令和元年10月8日(火) 新潟ふれ愛プラザ 参加者 3名(1チーム)

■あなぐま芸術祭 令和元年9月1日(土)～9月9日(日) 岩室温泉街
参加者 約30名

■岩室産業祭り 令和元年10月20日(日) 岩室体育館 参加者 2名

■西蒲高等特別支援学校文化祭てまり祭 令和元年11月16日(土) 参加者 1名

7 補助金・助成金 事業報告

■新潟市 令和元年度結核予防費補助金 15,000円

■新潟労働局 人材確保等支援助成金 1,500,000円